

楽しみながら「健幸」に

健康フェスタ2018

健康づくりの祭典「健康フェスタ2018」が10月20日、市民スポーツ公園・市民体育館で開催され、約2200人の参加者がさまざまな健康プログラムを楽しみました。



全員でラジオ体操をする参加者たち



大南さん(中央)から指導を受ける子どもたち

消防本部発足50周年 記念イベントも



地震体験をする親子連れ

同会場では、消防本部の発足50周年を記念したイベントも同時開催。参加者たちは、地震や濃煙の体験、初期消火訓練など、さまざまな消防プログラムも楽しんでいました。

市は、誰もが健康で幸せに暮らせる「健幸」まちづくり「スマートウェルネスシティ」構想を推進しており、その取り組みの一環として平成26年から毎年、同フェスタを開催しています。

イベントでは、体力テストや健康チェック、ニュースポーツ体験など、さまざまなプログラムを実施。ウォーキングプログラムでは、浜茶との景観が日本遺産に認定された上津屋橋(通称「流れ橋」)まで、八幡市自治連合会の上原嘉昭会長から提供された真竹の杖を使って、たくさんの方々が一緒に歩きました。

また、世界陸上ヘルシンキ大会の女子10000m日本代表、大南博美さんを講師に迎え、小学生かけっこ教室を開催。子どもたちは、走る姿勢や足の動かし方など、大南さんの指導に熱心に聞き入り、アドバイスを生かしながら楽しそうに走っていました。

市では、同フェスタ以外



流れ橋をウォーキングする参加者たち

にも、体操教室や健康づくりに取り組んでポイントを貯める「健康マイレージ事業」など、さまざまな健康事業を実施しています。また、来年3月には生涯学習センターで、ロコモチェックや筋トレなどの体験を通じて、「健幸」に暮らすための気づきを得る「健幸マルシェ」の開催も予定しています。

「うまいもん」八幡に集結



各地の「うまいもん」が集結し、たくさんの人でにぎわう会場

八幡や淀川沿川などの「うまいもん」が一堂に集まる「やわたうまいもん祭&マルシェ」が10月21日、石清水八幡宮頓宮で開催され、約6500人の来場者でにぎわいました。

このイベントは、地元八幡を中心にさまざまな「うまいもん」を味わいながら、ステージパフォーマンスや手作り市などを楽しんでもらおうと、観光協会が主催。毎年開催されており、今年で4回目を迎えました。

会場には、八幡の特産品であるたけのこを使ったおでんや銘菓、京都市内の老舗洋食店のハンバーグなど、さまざまな「うまいもん」が集結。

また、市内農家が育てたお米や九条ネギなどの農産品、アクセサリーなどの手作り品の販売、ステージではバンド演奏などが行われ、来場者たちは「うまいもん」を味わいながら多彩なイベントを楽しんでいました。

お子さんと訪れた岩浅美幸さん(34)は「いろんなおいしいものも知れたし、子どもが楽しめるイベントも多くてよかったです」と話していました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



新・空中茶室「そら」でのお点前に見入る参加者たち

空中茶室で優雅なお茶会

10月21日、「空中茶会inYAWATA」が石清水八幡宮、男山ケールで開催され、お茶に関連したさまざまなイベントに約250人が参加しました。

かつて石清水八幡宮の山腹にあった、崖からせり出した「懸け造り」の空中茶室「閑雲軒」。この茶会は、八幡で生まれた茶文化の象徴である「空中茶室」をPRしようとする京阪ホールディングス株式会社と連携して市が主催しました。

イベントでは、昨年の「お茶の京都博」で市と東京藝術大学が共同制作した新・空中茶室「そら」でお茶会を実施。雅楽の演奏が流れる中、参加者たちは雲に包まれたような茶室でのお点前を興味深そうに見つめ、運ばれた八幡市産抹茶「浜乃風」を優雅に味わいました。

また、日本茶インストラクターによるお茶の振る舞いや、通常よりゆっくり動く男山ケールから京都盆地の夜景を堪能するお茶会なども行われ、参加者たちは楽しみながら八幡の茶文化に触れていました。